

昭和100年展

そして未来へ

1989～

## 平成、令和、これからの野々市

平成 23(2011)年、前年に人口が5万人に達したことを受け、念願の「市」への移行を果たします。この市制施行は、野々市が自立した都市として、さらなる発展を目指す大きな節目となりました。

平成 29(2017)年に文化交流拠点施設「学びの杜ののいち カレード」が、令和元(2019)年には地域中心交流拠点施設「にぎわいの里 ののいち カミーノ」が開館。

街の姿はこれからも変わっていきます。100年後の野々市はどんな姿になっているのでしょうか。



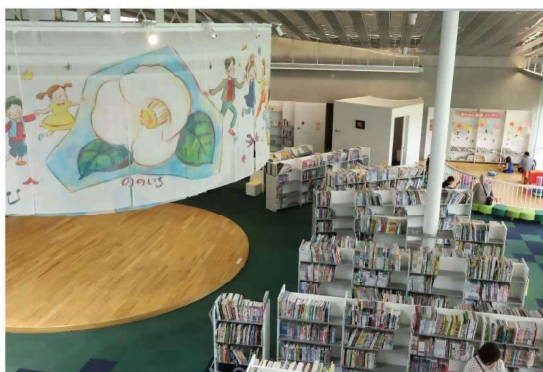
平成 15(2003)年 コミュニティバス「のっティ」試験運行



平成 22(2010)年 のっティが公式キャラクターに



平成 23(2011)年 野々市市誕生



平成 29(2017)年 学びの杜ののいち カレードが開館



令和元(2019)年 にぎわいの里 ののいち カミーノが開館